

「SDGs」とは、持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)のことで、世界中の人々が安心・安定して暮らし続けるために、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成されています。
 荒川区においても、SDGsが区民の皆様による地域での取り組みに反映されています。そこで今回は、SDGsの目標1「貧困をなくそう」目標12「つくる責任つかう責任」にも該当するような区内の2つの取り組みをご紹介します。



大人気！誰かのためのお野菜マルシェ鈴木商店

昨春、緊急事態宣言で休校のため農家が打撃を受けたニュースを皆さん覚えていますか？各企業や自治体はその野菜を臨時販売して、農家も消費者も喜んでいたニュースを見て「うちも何かできないか」と農協に相談し、販売を実現したお店。それが東尾久にある鈴木商店です！



つくる責任、つかう責任、残さない。

— 取り組み始めてから、口コミで広がったそうですね。 —

農業新聞にも掲載されました。今は農協から紹介された農家さんの新鮮野菜を軸に販売しています。コンセプトは余剰野菜・廃棄野菜を産地直送で食卓へ届けること。美味しい野菜を安心して販売することです。

— 町の皆さんの反応は？ —

ご近所にはいわゆる買い物難民の方がいらっしゃるのに月に1回でも、自分の目で選んで買いたい方や高齢の方に喜ばれています。自転車に乗れない方、スーパーまで遠く、歩いても重たい荷物は大変。ご近所さんのそういうニーズにピッタリなのかも。食べてみたら皆さん新鮮でおいしかったとか言われますよ。



シルバー世代に喜ばれています。

— 立派なSDGs活動ですね！ —

つくる責任、つかう責任、残さない。ウチがやっていることって微々たる活動ですよ。そんなレベルですけど、この意識がみんなに根付いていけば。

「やっている意味」をわかっていると、買うことでお客さまの貢献につながりますよね。そういういろんな意味での街の活性化とお店の活性化につながるかな、と。

絵を描くのが好きで。ホワイトボードに時事ネタのイラストを描くことによってそれもお客さまが楽しみにしてくれて。野菜買ったついでにそのイラストを見て色々話しています。素直にそれが私の励みになっています。



お客さまからの「アタすごいよ！」が励みに。

— 印象に残る出来事がありますか？ —

あるお客さまが「もったいないとは思いますが自分一人では何もできない、わかっていてもなかなか行動にうつせない人が沢山いる中でアタすごいよ」と言ってくださった。

私は一従業員に過ぎないし、オーナーはもうすぐ80歳。高齢だし二人でなにかやろうとする力はミクロレベルの力です。「すごいよ」とお客さまが言ってくださったのは正直励みになっています。

これから何年続くかはわからないけど、気持ちとしては月1回は定着したので、期待を裏切らないように続けられるまでは続けていきたいと思っています。もったいない精神が役に立っていますね。



普段はたばこ屋さん。ゴリラの人形が目印

取材者の声

近所の人がちょっと寄ってくれるような皆の居場所になっているお店でした！



鈴木商店 (すずきしょうてん)

東尾久8-17-4
 営業時間：9時～16時 日・祝休み
 TEL：03-3894-6255

ひらいちゃんと いっしょ

荒川区社会福祉協議会の事業をひらりちゃんがレポートします！

今回もいくらりよー

第2回 障害者就労支援センター じょぶ・あらかわって どんどこ？

障害者就労支援センター じょぶ・あらかわとは・・・
 障がいのある方の就職活動のお手伝いや、仕事相談、障がい者雇用をしている会社の方と一緒に解決方法を考えたりしています。

障がいのある方と会社をつなげる ところですよ

就労支援センター じょぶ・あらかわ 丹羽センター長

こんなことをしています・・・

- 会社訪問 障がいについての研修
- 職場体験実習 就労訓練
- 定期面談 面接同行
- 履歴書作成

フットサルや登録者同士の交流会もあるだっちゃん♡

じょぶ・あらかわ 原

お互いの小さな理解が住みやすい社会となります。

一人で悩まず みんなで考えていきましょう

就労支援センター じょぶ・あらかわ 丹羽センター長 (変身後)

らりね